



信じて 共に Challenge! Go!

鴨島東中学校 第3学年便り 令和5年4月10日発行

学年目標 「信じて 共に Challenge! Go!」

3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今日のクラス替えで、クラスは誰と一緒に、担任は誰か、わくわくしながら登校したでしょう。新たな出会いが1年後には「この仲間たちと出会えてよかった」と思えて、ずっと繋がれる絆になるよう願います。

今年度の学年目標は「信じて 共に Challenge! Go!」です。誰にとっても居心地のよい温かい学級や学年をみんなで作って、力になり合える信頼関係を築いてほしいと願っています。互いのことをすべてわかることはできませんが、友達の思いをわかろうと寄り添うことがやさしさであると思うし、どんなにその人の心の支えになるでしょう。そして、受検をはじめ進路決定は「団体戦」です！勉強に疲れたときや不安になったとき、「まだ頑張れる」と自分を信じるだけでなく、傍で頑張っている友達を見て、自分も頑張ってみようという力を振り絞ったり、「教えようか」と声をかけたりして、団体戦を共に闘い抜き、全員で喜びをつかみましょう。目標達成に向かって粘り強く挑戦し、努力する自分を誇りに思える一年にしましょう。

また、明日入学式が行われ、みなさんは「最上級生」になります。下級生の手本として頼りになる最上級生になり、鴨島東中学校の顔として胸張れる3年生に成長するみなさんだと信じています。

1 学期学級役員	1 組	委員長	さん	副委員長	さん
	2 組	委員長	さん	副委員長	さん



最高に楽しかった長崎への修学旅行を振り返って

3月13日（月）から15日（水）の2泊3日、最高に楽しく意義深い修学旅行になりました。時間を守り協力して班行動をし、友達とさらに仲良くなり、友達の素敵な一面を発見しました。軍艦島上陸や長崎市内班別自主研修で長崎の歴史や文化に触れました。ハウステンボスではこれ以上ない笑顔がはじけていました。また、語り部小峰秀孝さんから原爆投下当時やその後の人生についてお話を聞き、原爆落下中心地を歩き、平和公園や原爆資料館を訪れ、戦争の悲惨さを目の当たりにし平和を築く実行者になることを決意しました。（裏面に写真掲載）

○一番印象に残っているのは原爆資料館です。私が驚いたのは当時実際に被害を受けてけがをしている人たちの痛々しい写真が貼られていたことです。他にも原爆の模型やぐちゃぐちゃに溶けたガラス瓶、人間の手の骨とくっついた石など衝撃的な物が展示され、詳しく原爆の脅威について知った。私は原爆について知っているつもりでいたけれど、私の知識はほんの一部だと気付いた。ひどい情景や被爆者の悲痛な叫びなど悲惨な戦争の事実を資料館で知った。被爆者が願った平和が今実現しているのだろうか、私は吊るされた千羽鶴を見ながら考えた。○私は軍艦島上陸クルーズが一番印象に残っている。船に乗って軍艦島が見えてきたときはとてもわくわくして、早く上陸したいと思った。上陸すると、島の美しさに圧倒された。宝石の美しさとは異なる美しさを感じた。映画の中に入ったような気持ちになった。当時東京の人口密度の10倍もの多くの人たちが暮らしていたのかと、昔の様子が浮かんできた。トイレ、電気、自動販売機などがないことも、今の日本ではない感じがした。壊れかけた建物は今にも崩れ落ちそうで、軍艦島の時の流れを感じた。帰り、軍艦島の周りを船で一周したとき、海に囲まれた軍艦島はとても神秘的だった。建物や自然に感動したことがなかった私は、軍艦島で初めての感覚に陥った。

<保護者のみなさまへ>

中学校最後の仕上げの年になりました。子どもたち一人一人と真正面から向き合って、学力面はもちろん豊かな人間性を高めることに尽力していきます。そして、来春に希望の進路を切り拓くことができるよう精一杯支援したいと思います。保護者のみなさまとも連絡を取りながら信頼関係を築いてまいります。

23日（日）、PTA参観・総会・学年部会があります。参観授業(8:45開始)は子どもたちが高校について調べたことを発表し、学年部会は学年の取組と進学についての説明を予定しています。是非ご参加ください。